

	<p>・専門領域の外部講師を本年度も継続して招聘し、最新情報を取り入れる。</p>	<p>を集約し課題に取り組む態度を育んだ。また、基礎看護、老年看護、成人看護学、小児看護学、在宅看護論、精神看護学の分野で外部講師を招聘し、講演・講義を行った。</p>	<p>生徒は昨年比で10%増加した。「選挙に行きたい」や「討論会に参加したい」など前向きな意見が増えつつある。令和4年4月からの成年年齢の引き下げに伴い、主権者としての自覚が高まりつつある。</p>	<p>員会の発言等から感じられるが、学年により意識の違いがあるように思う。生徒と保護者と学校との意識をもっと共有出来ればよりよくなると思う。まずは目標の共有を再確認出来ればと思う。教育目標と個人の目標がリンクできればよいと考える。</p>	<p>いきたい。</p>
	<p>②定期考査や模擬試験返却時、個人面談を行い、個々に応じたアドバイスや指導を行う。</p>	<p>②定期考査前後に個人面談を実施し、成績不良者に対しては、振り返り学習の指導を行った。</p>			
	<p>③定期考査・課題テストにおいて60点に満たない生徒は補充学習を行い、学力の向上を図る。</p>	<p>③定期考査後にはその結果を受け、再考査に向け補講を行った。また、課題テストについては特別補習を実施した。</p>			
	<p>④「政治や選挙への関心や政治的事象への関心が以前より高まった」と答えた生徒が70%以上をめざす。</p>	<p>④「政治や選挙に関する知識を以前より得られた」と回答した生徒は82%、「政治や選挙に対して以前より関心が高まった」と回答した生徒は63%となった。</p>			
	<p>⑤主権者教育に関するホームルーム活動や学校行事等を年3回以上実施する。</p>	<p>⑤主権者教育に関するホームルーム活動を2回、模擬選挙も実施した。</p>			